

会長挨拶

令和8（2026）年の新年度を迎えました。当協会は昨年の1月に事務所をジーンズストリート近くに移転し1年3カ月が経過し、会員も数名の退会と入会がありました。

今年度は現役員が継続して運営していきますが、今年度は対応ガイドのお客様の数を2割アップを目標に、キャッチガイドの人数と回数を増やし、広報活動の強化、会の運営改善などを中心に活動していきます。

これからも、児島に来ていただける観光客・地域の皆様方に喜んでいただけるよう努力してまいります。地域内の企業の皆様、賛助会員として協力いただけることをお願いする次第です。



児島観光ガイド協会

〒711-0913

倉敷市児島味野1-9-34

TEL 086-474-4004

ホームページ:

<https://kojimaguide.com>

e-mail:

kojima.kankouguide2023@outlook.jp

Instagram:

https://www.instagram.com/kojima_guide/

児島観光ガイド協会令和8年度総会開催



出席者：協会会員26名、委任状出席6名、欠席4名

来賓出席：児島商工会議所専務理事 草地俊彦様

児島ジーンズストリート協同組合代表 石橋秀次様

NPO法人鷺羽山の景観を考える会理事長 楠本新太郎様

公益財団法人竜王会館事務長 辻則之様

規約により児島観光ガイド協会会長の西中学が議長を務め第1号議案から第7号議案までの審議を行い賛成多数で議案は可決・承認されました。

会長より「本年は昨年度からの活動をより一層活性化し、内部体制の充実強化を図りたい」との言葉で総会をしめくりました。

(堀元知子)



児島の春を彩る「児島雛めぐり」をサポート

2月21日から3月8日まで「第23回 倉敷雛めぐり」が開催され、児島エリアでも歴史ある町並みを舞台に華やかな展示が行われました。当協会も、地域の魅力を伝えるべく多角的なサポートを実施しました。

☆歴史を伝える現地ガイド☆

国指定重要文化財「旧野崎家住宅」では、観光案内に加え資料配布を行いました。岡山藩主池田家ゆかりの「享保雛」などの格式高い展示とともに、「塩田王」野崎家の歴史や建物の見どころを詳しく解説。「背景を知る

ことで感動が深まった」と来場者からも好評を博しました。

☆特別公開会場での支援☆

通常非公開の「野崎家別邸 追暇堂」では、受付などの運営を支援。明治期の趣が残る静謐な空間で、来場者が安心して“雅”なひとときを過ごせる環境づくりに努めました。お雛さまをきっかけに児島の歴史や人の温かさに触れていただく。そんな「歩くほどに楽しい雛めぐり」を、今後も会員一同で支えてまいります。(横瀬文美)



児島の原点を知る「味野の塩田干拓と都市形成」研修会



建築家の山口晋作先生を講師に迎え、会員向け研修会を開催しました。約20名が参加し、児島と塩田の深い関わりを構造的に学ぶ密度の高い時間となりました。

講義では、野崎武左衛門の活躍より200年以上前の1610年に既に「古塩田」が存在していた事実や、武左衛門は「庄屋（政治）」ではなく「実業家」として干拓を成し遂げたことなど、新たな視点が示されました。

また、味野が中心地へと発展した背景には、他地区に先駆けた上水道整備という戦略的なインフラ整備があったことも大きな学びでした。

児島は「海を陸に変えてきた挑戦の町」です。塩田が稼働した約140年間の爆発的なエネルギーが、現在の景観とアイデンティティを形作っています。単なる人物伝にとどまらず、都市形成の背景を理解することで、ガイドの質をさらに深める契機となりました。この知見を活かし、これからも児島の奥深い魅力を発信してまいります。（西澤 等）



「第二回ユースボランティアガイドat旧野崎家住宅」を開催しました



昨年11月の鷲羽山に続き2回目となる今回のイベントでは、多くの観光客が訪れる「児島雛めぐり」の期間中、4人の学生さんに旧野崎家住宅でガイドに挑戦していただきました。

まずは事前勉強会で、事務長の辻様より野崎家の歴史や見どころについて詳しく講義していただき、自宅でそれぞれ復習した後、いよいよガイド実践に臨みました。

最初は緊張のため覚えてきたはずのことがうまく説明できず、

会員にフォローしてもらおう場面も多く見られましたが、回を重ねるごとにどんどん自信に満ちた表情に変わっていき、身振り手振りを加えながらガイドする姿はとても頼もしかったです。

参加者からは「普通のボランティア活動と違い、勉強が必要だけどそれが楽しい」「観光客にお礼を言われると充実感があった」「友達にも勧めたい」などの感想をいただき、これからもこのイベントで若者達の児島愛を育てていくことができたらいいなと感じました（瓜生美絵）



【令和8年度 活動方針：児島の魅力を、もっと広く、深く】

令和8年度、私たちは「ガイド利用者数 5,000名」という大きな目標を掲げました。この目標を達成するため、本年度は「キャッチガイドの充実」と「予約ガイドの促進」を二本柱として、ガイド機会の創出に注力してまいります。

まずは「児島観光ガイド協会」の存在を国内外に広く知っていただくことが第一歩です。ホームページやGoogleマップ、Instagramなどのデジタル発信を強化し、閲覧数だけでなく「児島へ行ってみよう」と思っただけのファンを増やしていきます。

また、一度利用されたお客様から「お願いしてよかった」という口コミが広がるよう、会員のスキルアップ研修にも力を入れます。ガイドの質を高めることが、次のお客様を呼ぶ最良の近道だと考えているからです。

賛助会員の皆様、そして協会の全会員が一丸となり、児島の町をさらに盛り上げていきましょう。皆様の温かいご協力を心よりお願い申し上げます。（西中 学）